CUBE SYSTEM

2020年5月14日

JPX
東証一部上場

2020年3月期
決算説明会

証券コード 2335

Contents

1 2020年3月期 決算概況
（取締役　常務執行役員　山岡 一裕）

2 2021年3月期 見通し
（社長執行役員 兼 CDO　中西 雅洋）

3 V2026 2021-2026年度 次期VISIONの方向性
（社長執行役員 兼 CDO　中西 雅洋）

巻末資料

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1

2020年3月期

決算概況

1. 連結損益計算書概要
2. 営業利益の増減要因（前期比較）
3. 品目別売上高・売上総利益推移
4. 業種別売上高・売上総利益推移
5. 顧客グループ会社に対する売上高推移
6. 一人当たり指標
7. 自己資本およびＲＯＥの推移

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1-1 連結損益計算書概要

CUBE SYSTEM

「流通・金融」２業種にて堅調に推移するも、特損計上により増収・減益

売上高

前期実績より**2.7%増**

業績予想に対する達成率は94.9%

流通業における消費税対応案件並びに新規マーケットでの展開、金融業におけるクレジットカード事業会社向け案件で拡大するも製造業における建設機械メーカー向けシステム構築案件の終息により、微増にて推移

営業利益

前期実績より**4.1%増**

業績予想に対する達成率は88.0%

エンハンスサービスの高度化や派生する開発案件の受注拡大による収益改善に努めたことに加え、一部のプロジェクトにおける採算が好転し増益にて推移

親会社株主に帰属する当期純利益

前期実績より**11.9%減**

業績予想に対する達成率は76.8%

保有する非上場株式の一部について、時価が著しく下落し、現時点においては、その回復が困難であると判断したことにより、減損処理による投資有価証券評価損として、87百万円の特別損失を計上

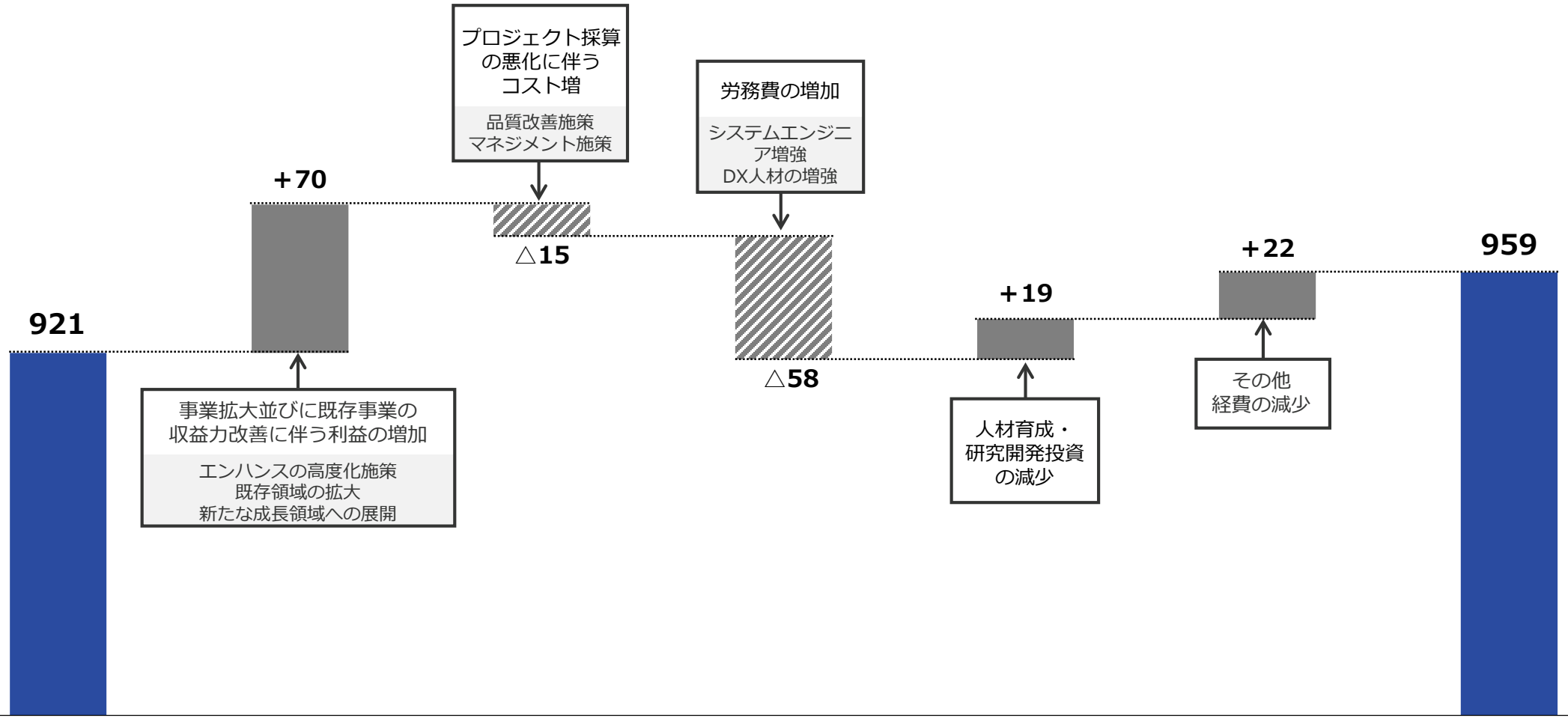
（単位：百万円）	2020年3月期 実績 （増減率）	2019年3月期 実績	2020年3月期 業績予想 （達成率）
売上高	**14,708 (+2.7%)**	14,325	15,500 (94.9%)
営業利益	**959 (+4.1%)**	921	1,090 (88.0%)
同利益率	**6.5%**	6.4%	7.0%
経常利益	**976 (+1.7%)**	959	1,090 (89.6%)
同利益率	**6.6%**	6.7%	7.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	**525 (△11.9%)**	596	684 (76.8%)
同利益率	**3.6%**	4.2%	4.4%

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1-2 営業利益の増減要因（前期比較）

CUBE SYSTEM

（単位：百万円）



Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1-3 品目別売上高・売上総利益推移

CUBE SYSTEM

売上高構成比 [2020年3月期]

71% システムインテグレーション・サービス

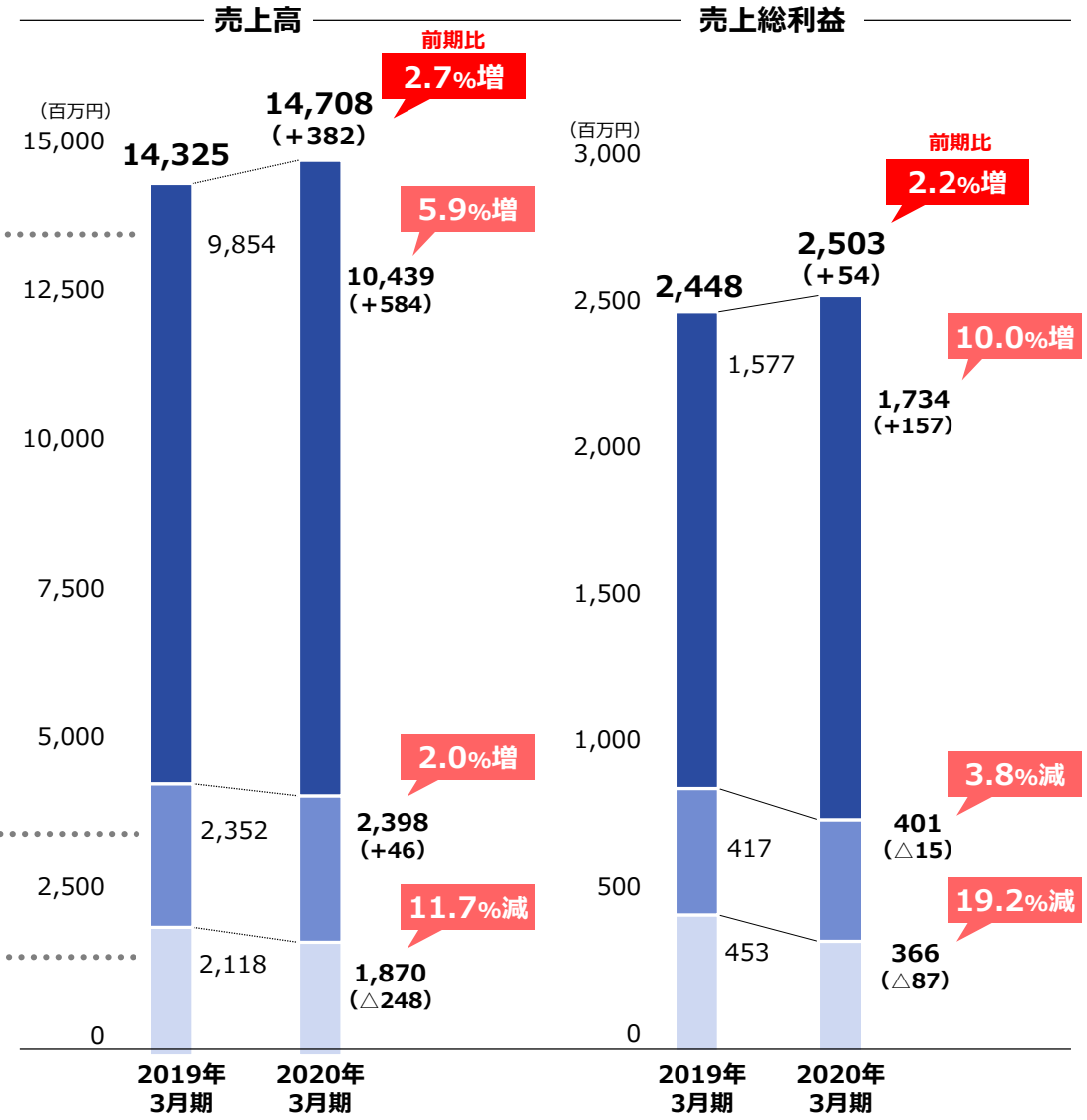
- 流通業におけるホームファニチャリング事業会社向け案件の拡大並びに成長領域での新規拡大
- 金融業におけるクレジット会社向けシステム構築案件の拡大
- 紙加工品メーカー向けシステム構築案件の拡大
- 教育事業会社向けシステム構築案件の拡大

16% システムアウトソーシング・サービス

- 流通業におけるアウトソーシングサービスの拡大

13% プロフェッショナル・サービス

- 通信キャリア向けシステム構築案件終息に伴う縮小



Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1-4 業種別売上高・売上総利益推移

CUBE SYSTEM

売上高構成比 [2020年3月期]

30% **金融業** 銀行 10%/保険・証券 12%/その他金融 8%

- クレジットカード会社向けシステム構築案件の拡大
- 保険会社向けシステム構築案件の拡大
- 銀行向けシステム構築案件の拡大

23% **流通業** 小売・卸売 23%

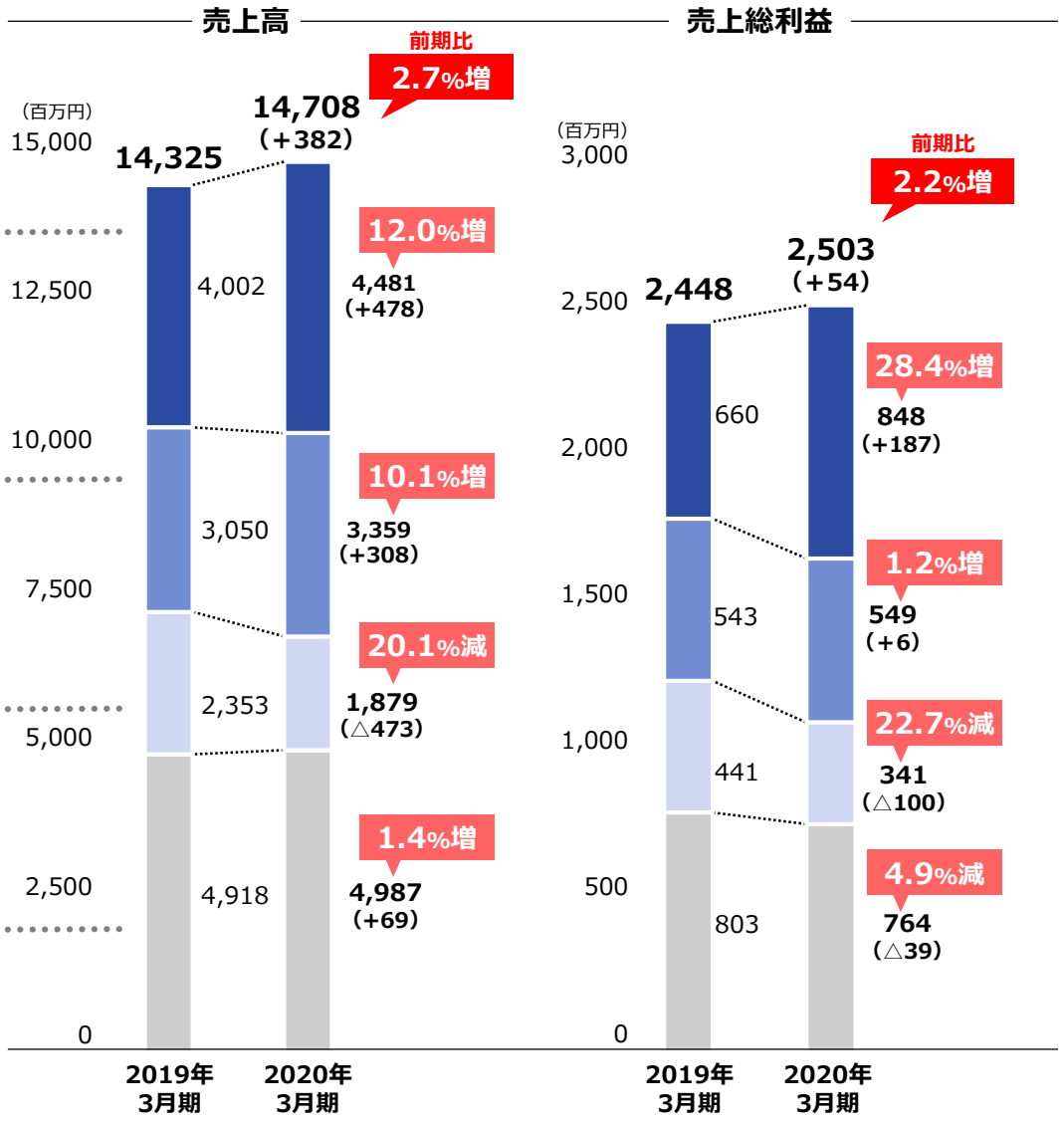
- 消費税対応案件の拡大
- 成長領域での新規案件の獲得による拡大

13% **通信業** 通信・運輸 13%

- 通信キャリア向けシステム構築案件の終息に伴う縮小

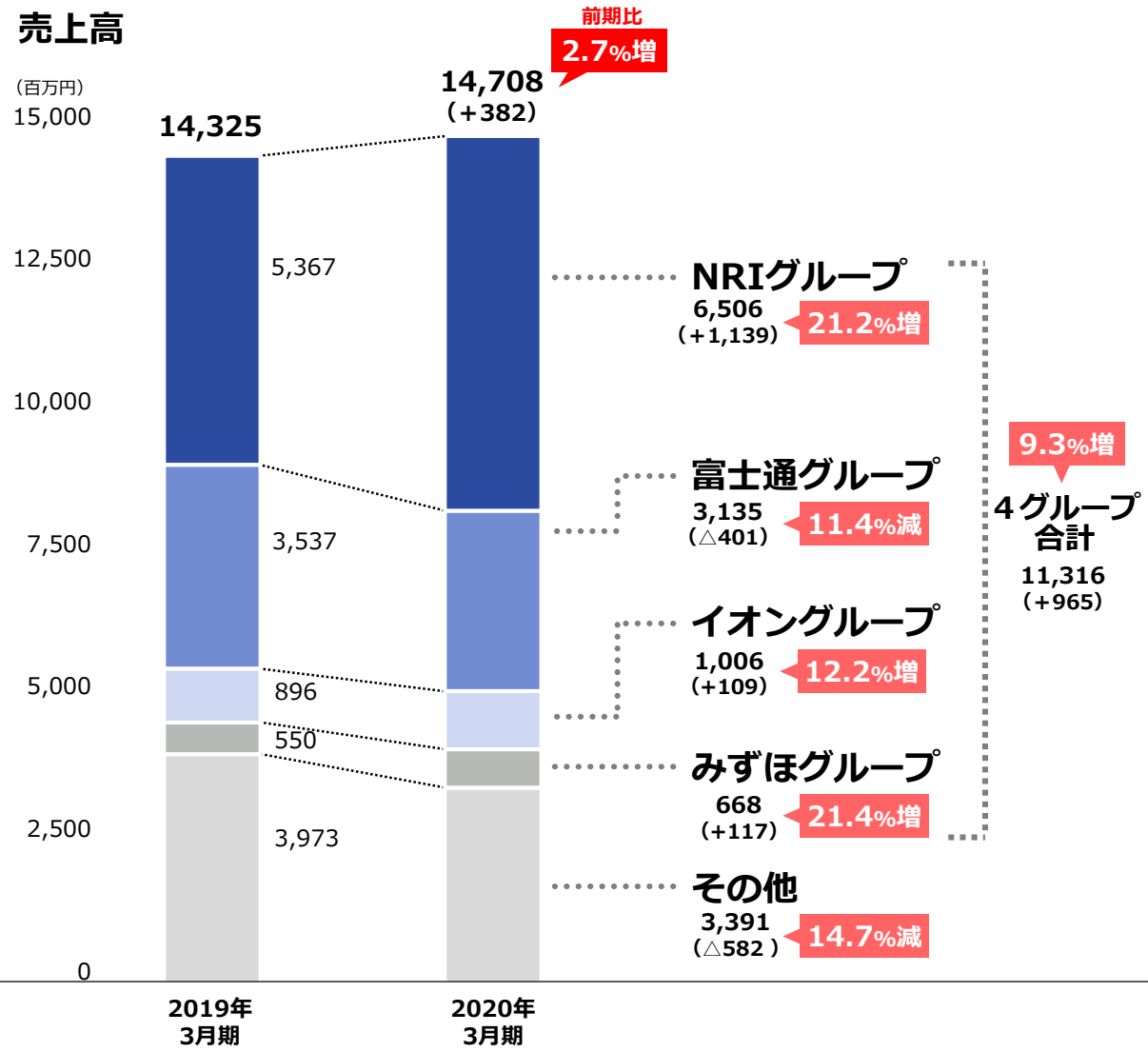
34% **その他** 官公庁 6%/製造業 11%/その他 17%

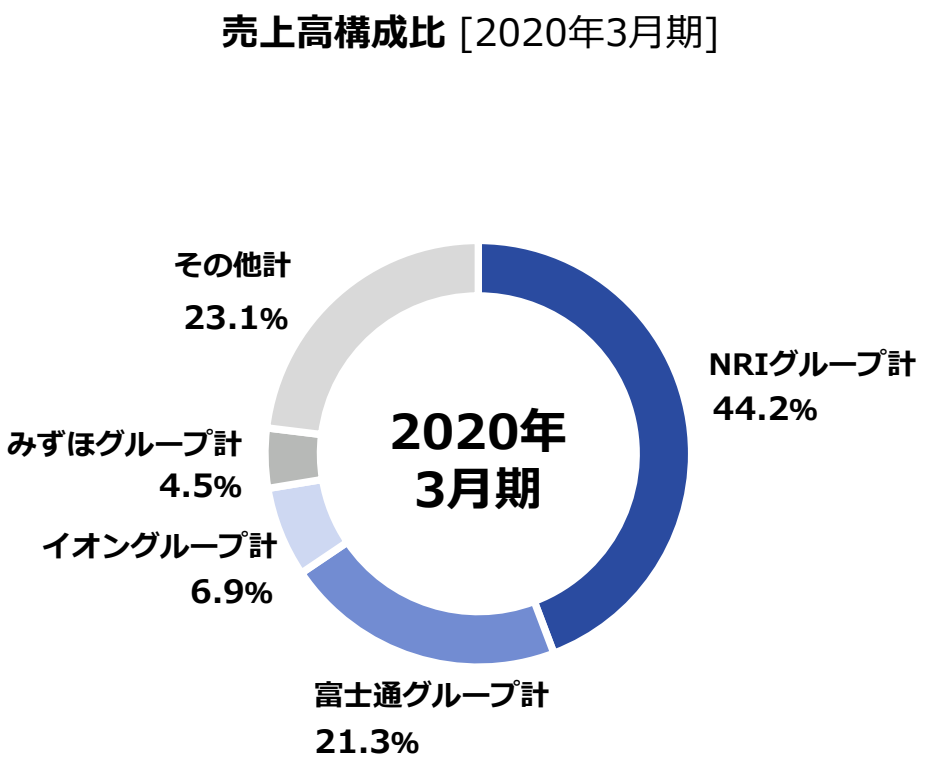
- 製造業における紙加工品メーカー向けシステム構築案件の拡大
- 教育事業会社向けシステム構築案件の拡大
- サービス業向けシステム構築案件の縮小
- 建設機械メーカ向けシステム構築案件の終息に伴う縮小



Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1-5 顧客グループ会社に対する売上高推移



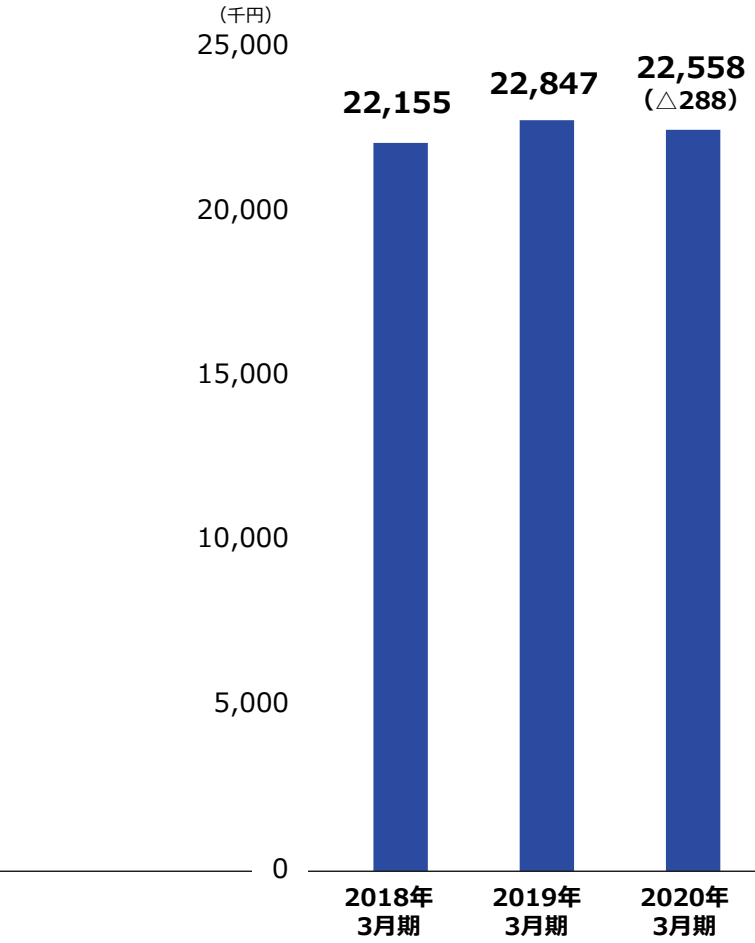


Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

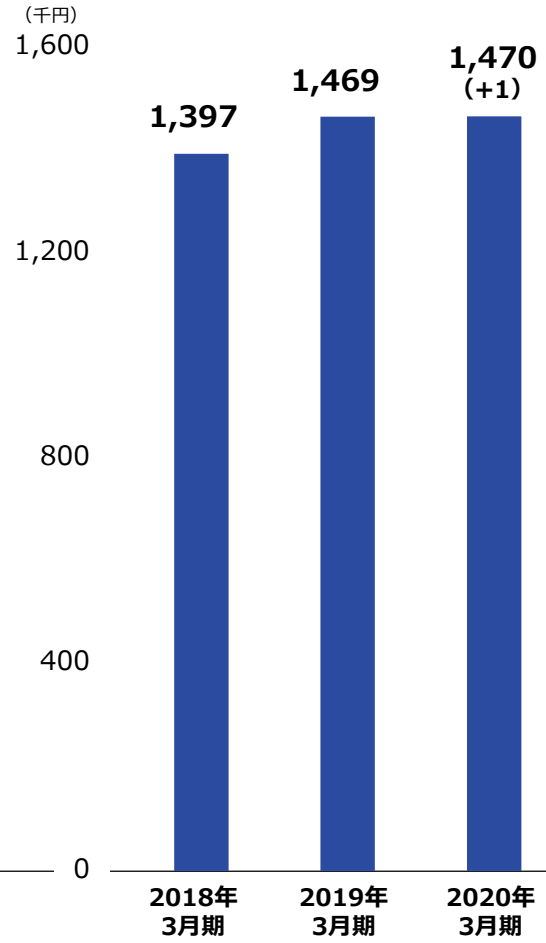
1-6 一人当たり指標

CUBE SYSTEM

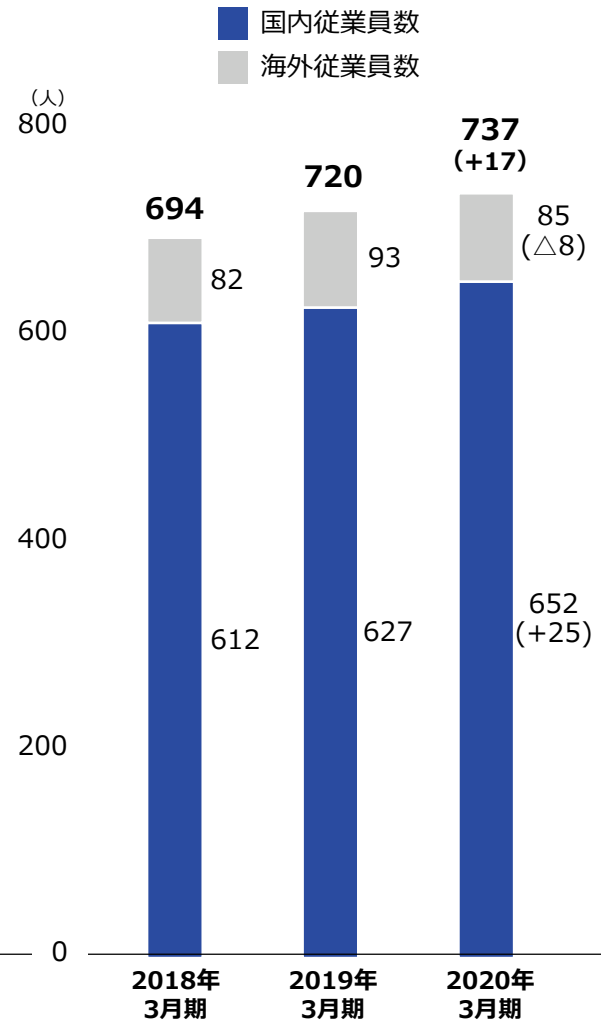
一人当たり売上高※



一人当たり営業利益※



従業員数



※「国内従業員数」にて算出しております。

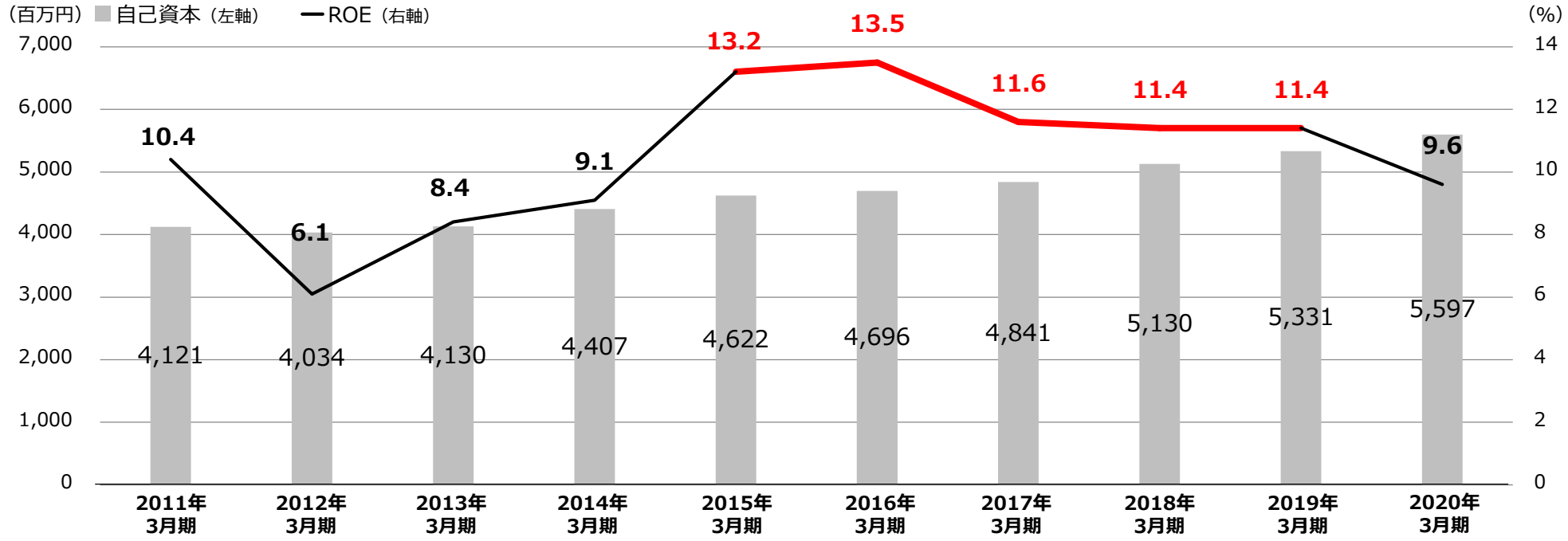
Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1-7 自己資本およびROEの推移

CUBE SYSTEM

資本効率および利益率の向上を図っていくことで、

ROE10%以上を継続的な目標としております。



※1 2011年3月期は、年金制度移行に伴い発生した過去勤務債務を除いて利益額を調整し算出しております。
※2 2012年3月期は、税率変更並びに繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の増加分を除いて利益額を調整し算出しております。

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2 2021年3月期 見通し

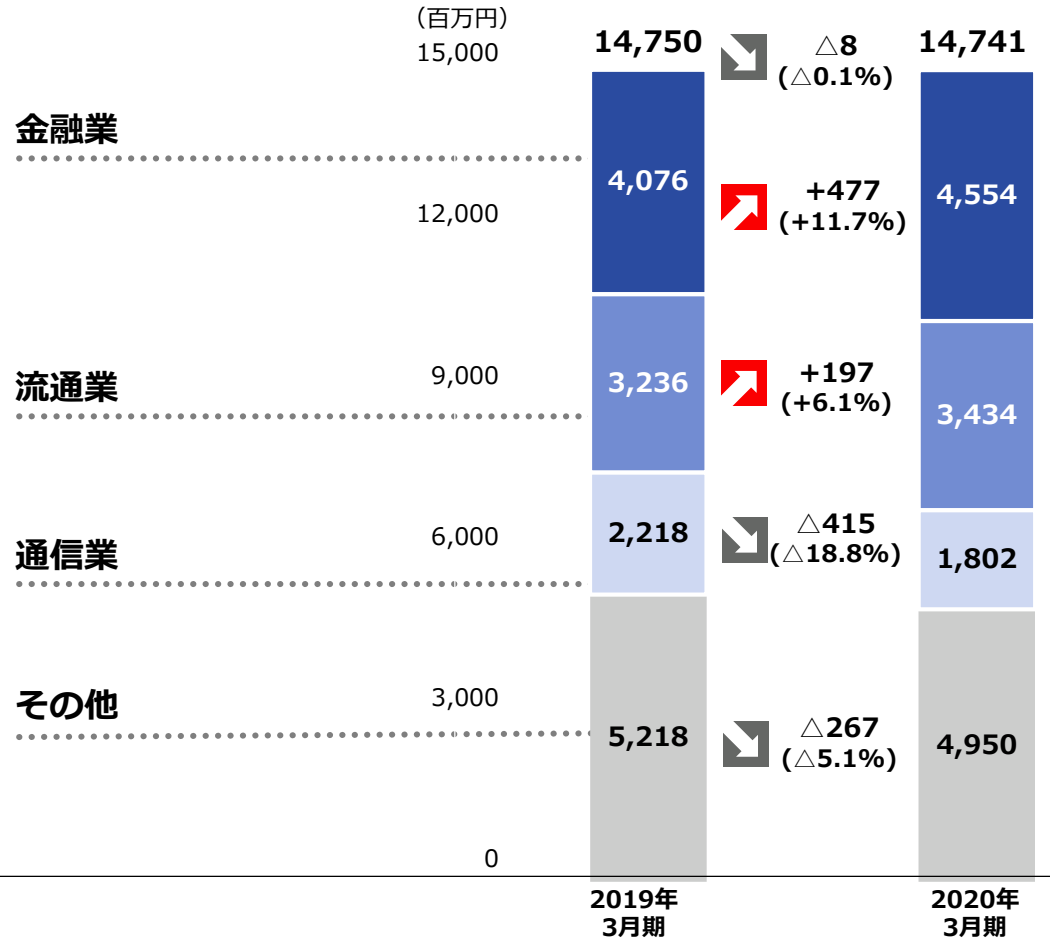
1. 業種別受注動向
2. 業績見通しの概要
3. 業績見通しのポイント
4. 業種別売上高見通し
5. 配当金および配当性向の推移

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

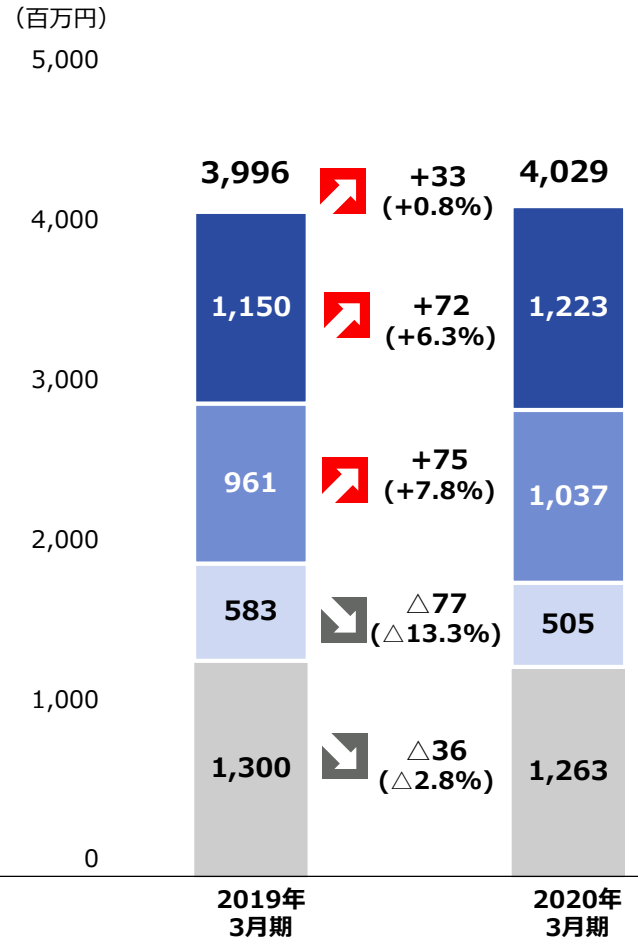
2-1 業種別受注状況

CUBE SYSTEM

受注高推移



受注残高推移

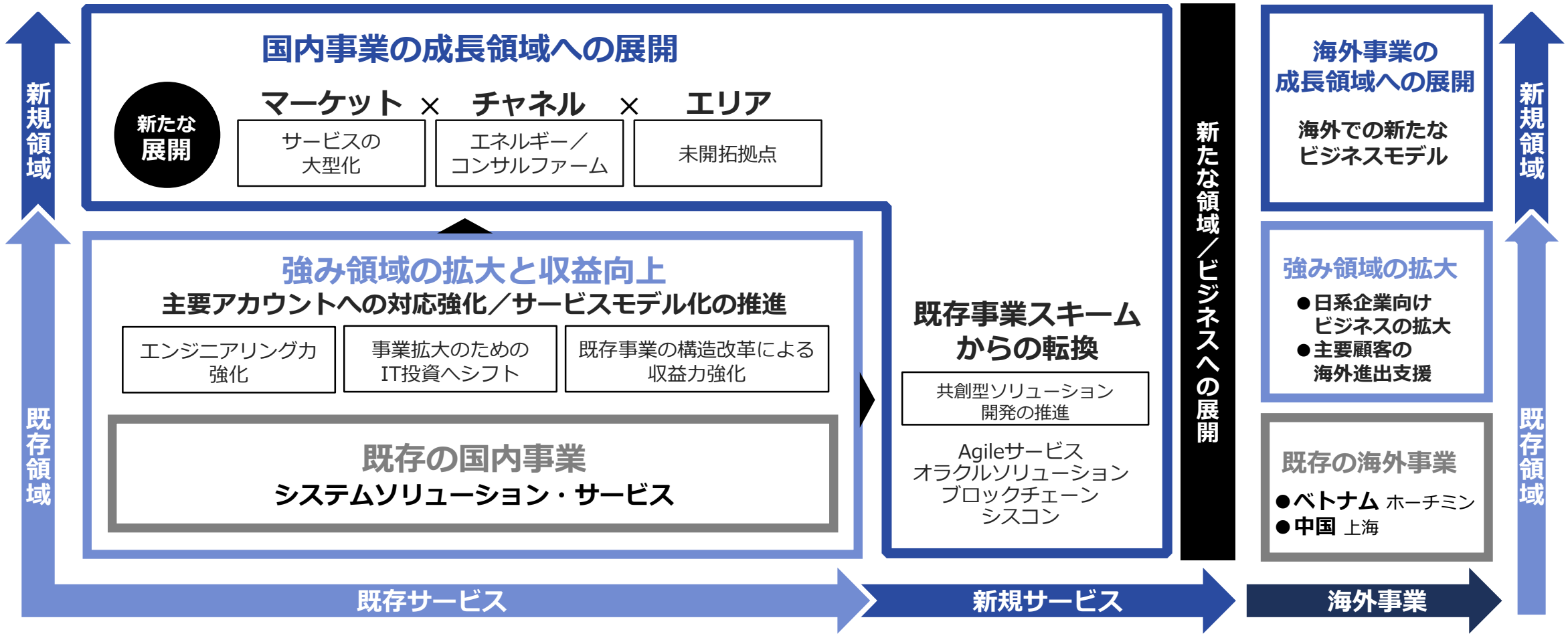


Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2-2 業積見通しの概要

CUBE SYSTEM

国内事業／海外事業　事業の方向性



Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2-2 業積見通しの概要

CUBE SYSTEM

売上高

前期比8.8%増を見込む

- 主要アカウントに対する営業力強化によるエンハンスビジネスの維持拡大
- 顧客の戦略的IT投資案件に対する営業力強化
  （新たなマーケット×チャネル×エリアへの展開）
- DXビジネスの新規開拓

営業利益

前期比16.8%増を見込む

- エンハンスサービスの高度化による収益力の向上
- 高生産性を実現する開発体制の整備
- システム開発会議を新設し、品質向上施策の強化
- 業務生産向上のための自社のデジタル化推進

※ 新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響につきましては、顧客企業による新規開発案件の凍結や商談機会の減少など営業活動への影響が見込まれる一方で、社会活動を維持するためにICTの積極活用によりこの局面を乗り切ろうとする動きも見られます。
このような状況の中、次期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が収束に向かい徐々に経済・社会活動が回復する仮定のもと算出しており、新型コロナウイルス感染症の収束状況によっては、業績予想を変更する可能性があります。

（単位：百万円 ）

	2021年3月期 業績予想（前期増減）	2020年3月期 実績
売上高	16,000 (+1,291／+8.8%)	14,708
営業利益	1,120 (+160／+16.8%)	959
同利益率	7.0%	6.5%
経常利益	1,120 (+143／+14.7%)	976
同利益率	7.0%	6.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	700 (+174／+33.3%)	525
同利益率	4.4%	3.6%

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2-3 業積見通しのポイント

CUBE SYSTEM

営業

金融



キャッシュレスを中心とした新サービスへの対応が加速する
従来から進めている業態変化への対応は変わらず進んでいくと想定される

- ネットバンクでのシェア拡大、クレジット関連の開拓と大型化
- 海外パートナーとの連携による担当領域の拡大

流通



需要の変動やECへの転換による消費動向の変化に対してITの活用期待が高まると想定される

- DX事業に係る案件の新規受注
- エンハンス案件の更なる生産性の向上／担当領域の拡大

通信・運輸



通信サービスに対する需要増ならびに新サービスへの期待は高まると想定される
運輸業においては、小口物流事業は一層需要増が見込まれると想定される

- クラウドソリューションサービスによるエンドユーザビジネスの増大
- 運輸事業会社向けサービスの維持拡大
- 通信業向け大型インフラサービスの維持・拡大

その他



製造業では、需要の変動による戦略的な投資の見直しが行われると想定される
DX事業推進についても、テーマの選別が行われていくと想定される

- DX事業関連案件の新規顧客開拓
- AI関連事業の拡大
- 企画型ビジネスの推進

利益改善

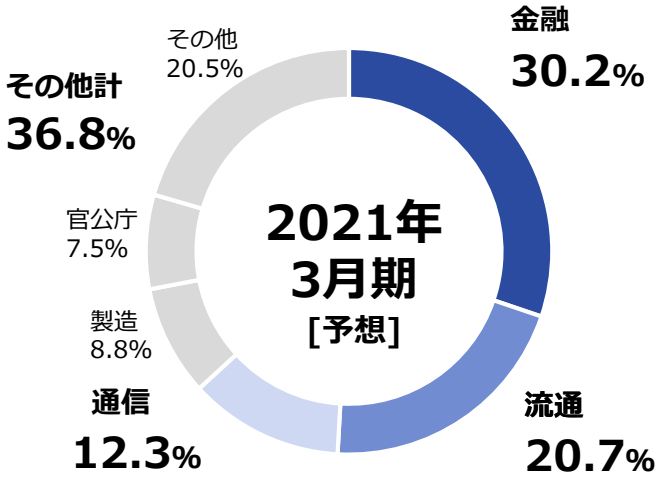
- エンハンスサービスにおける付加価値向上活動、開発のスピード化、高付加価値サービスの提供、
  海外パートナーも活用した開発モデル実践による収益力向上

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

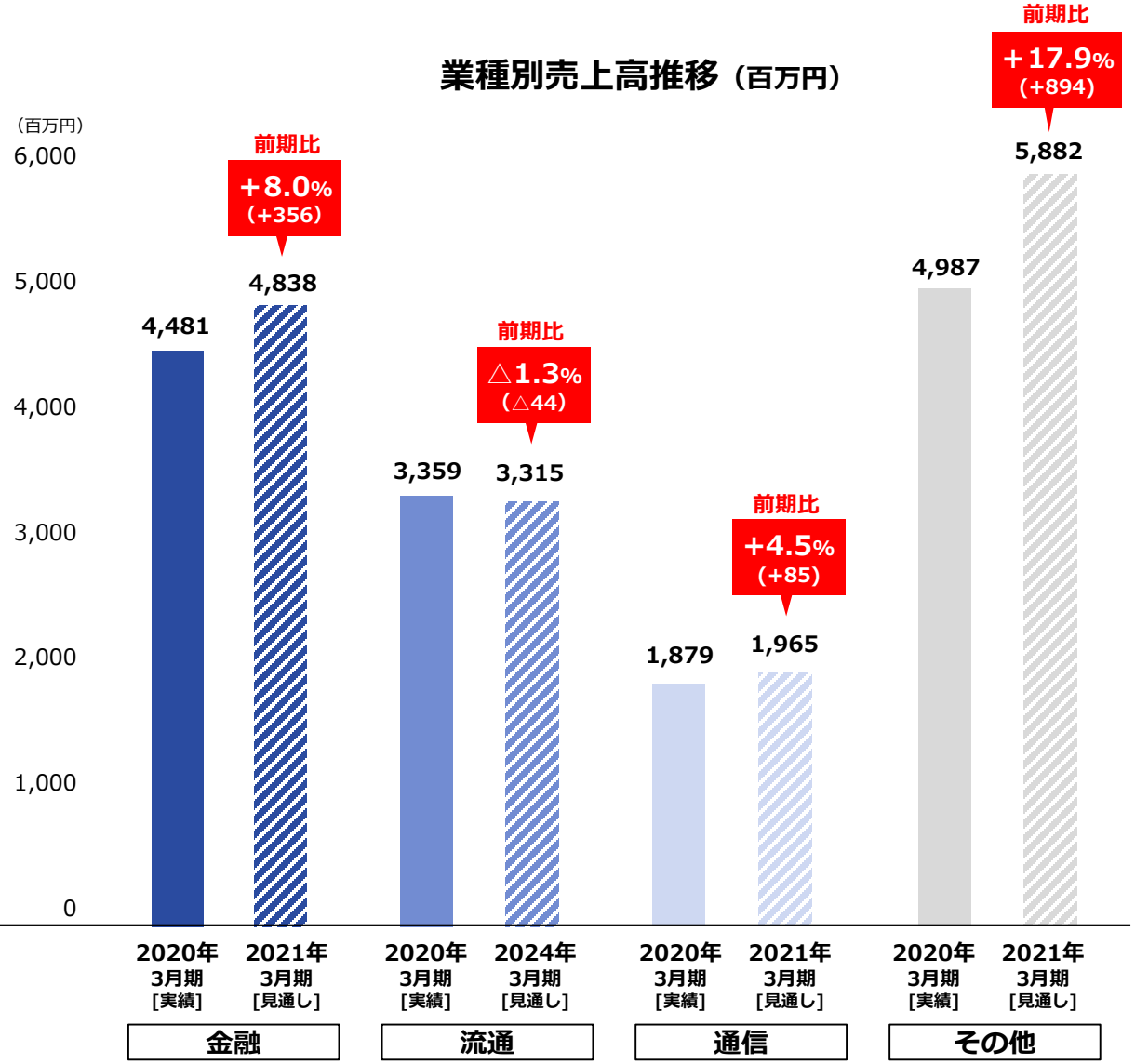
2-4 業種別売上高見通し 見通し

CUBE SYSTEM

業種別売上高構成比 [21/3業績予想]



業種別売上高推移（百万円）

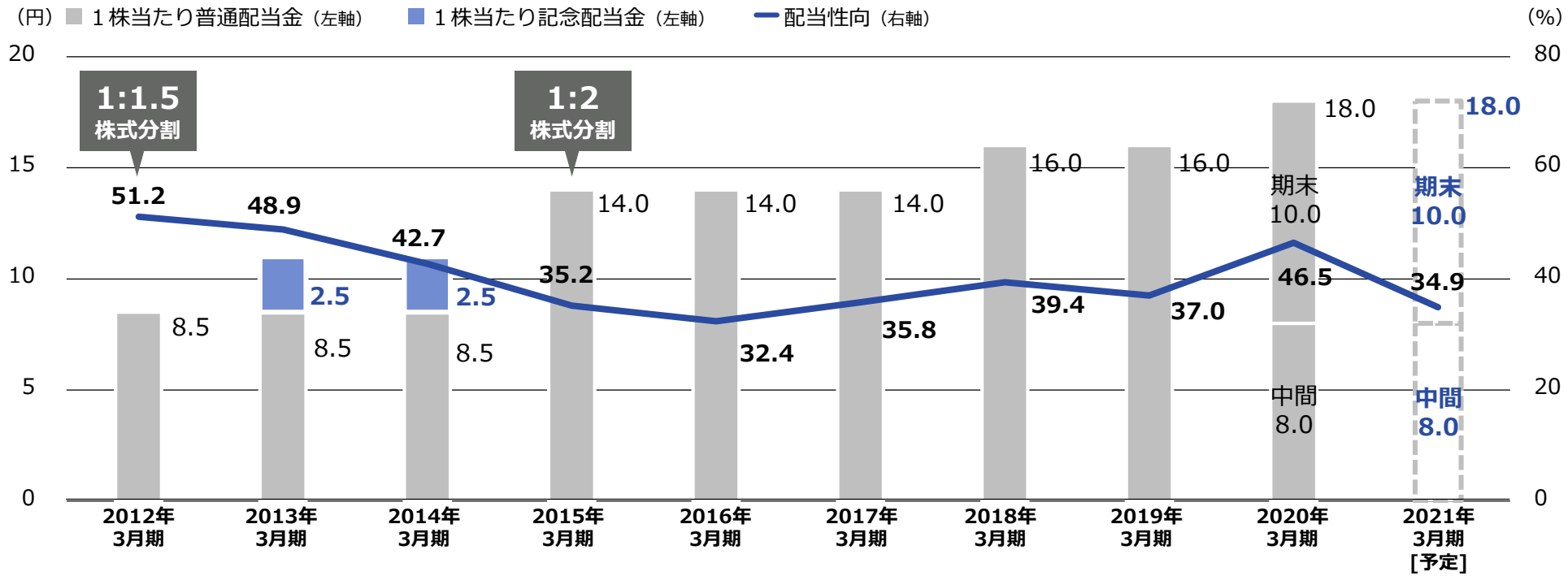


Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

2-5 配当金および配当性向の推移

CUBE SYSTEM

今後も収益性の向上に努め、
安定的な配当を継続してまいります。



※１ 配当金は、2011年4月1日の1:1.5の株式分割、2014年10月1日の1:２の株式分割の影響を遡及して調整しております。
※２ 2012年3月期は、税率変更並びに繰延税金資産の一部取崩しによる法人税等調整額の増加分を除いて利益額を調整し配当性向を算出しております。

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3

V2026
2021-2026年度

次期VISIONの方向性

1. V2020の進捗状況
2. 経営ビジョン「V2026」で目指すこと
3. 「V2026」の方向性について
4. サステナビリティ経営
5. さいごに

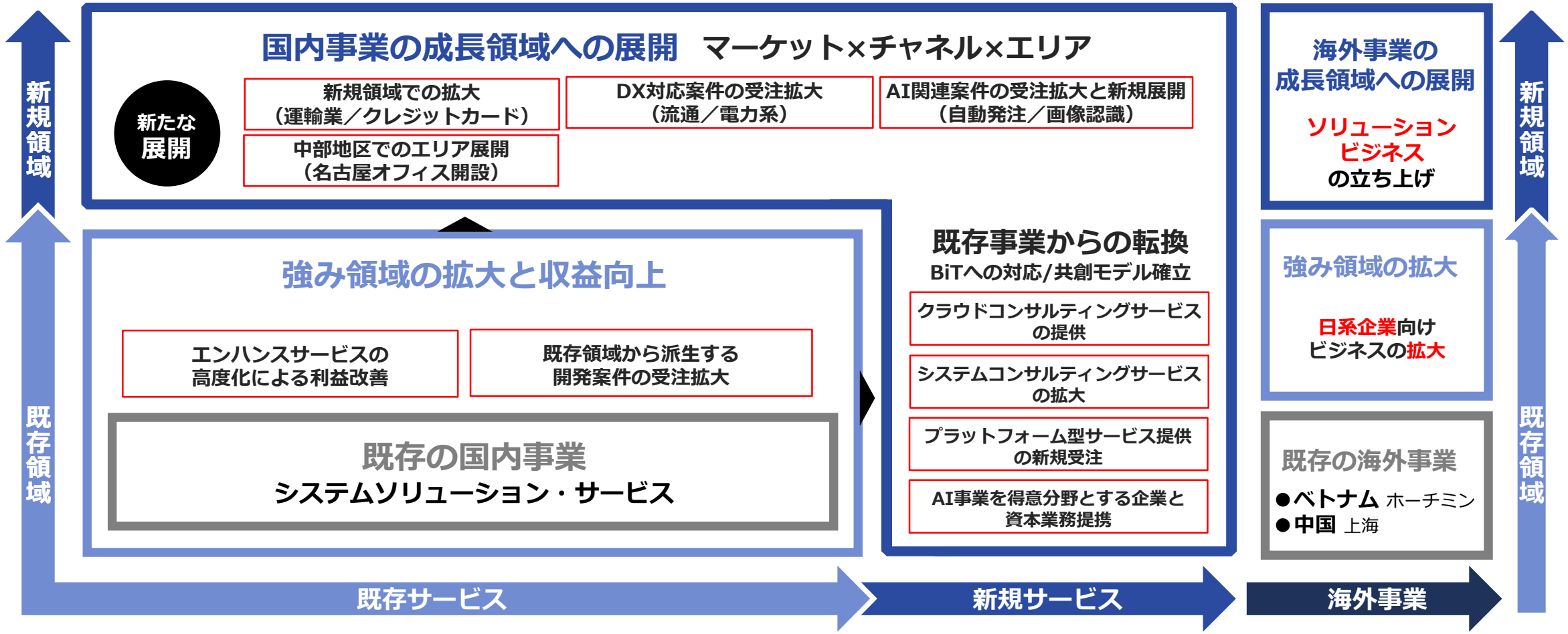
Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3-1 V2020の進捗状況

CUBE SYSTEM

国内事業／海外事業　事業の方向性

✓ 2019年度トピックス



Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3-2 経営ビジョン「V2026」で目指すこと

CUBE SYSTEM

V2026

ビジョン2026

社員自らが志を持ち、ビジネスマインドを持ち、自ら考え、行動する。

企画＋受託型ビジネスで事業成長を果たす。

達成のためのアクション

- ☑ コア技術（ソフトウェアエンジニアリング）を磨く。
- ☑ ソフトウェアエンジニアリングで社会に貢献する。

社員一人ひとりが、事業を通じて社会に貢献し、企業価値の向上を目指す。

企業活動全体で貢献する目標



サービス提供で貢献する目標



Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

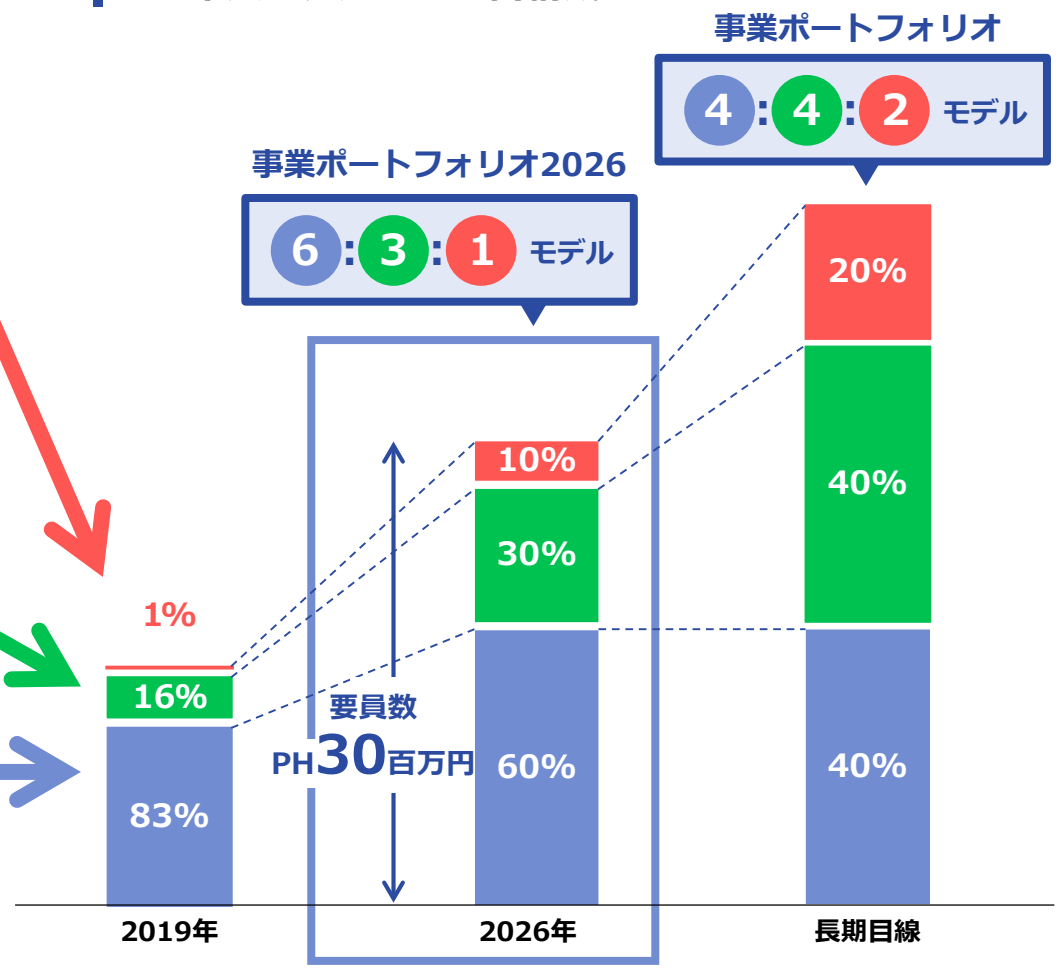
3-3「V2026」の方向性について　～事業の方向性～

CUBE SYSTEM

企画＋受託型ビジネスで安定的かつ継続的な事業基盤の構築
エンハンスビジネスを基盤にSIビジネス、デジタルビジネスへの投資注力

ビジネスモデル	アクション
デジタルビジネス ● ビジネス変革テーマの実践 デジタル技術を使った新ビジネスモデル 当社発の企画型ビジネスの実践 大手SIerとの連携モデル	今までとは全く違うアプローチで挑む 企画型のアプローチ アライアンス 投資(資本効率を徹底的に高める)
SIビジネス(Lift&Shift) ● プロセス変革テーマの実践 レガシーシステムのクラウド化に向けたPCI パッケージ、プラットフォームの積極活用 Agile型構築モデル	2つのアプローチと強みでシェア拡大 大規模 ▶SIer連携で実現 中小規模 ▶ソリューション提案
エンハンスビジネス ● 基幹系、情報系システムのエンハンス ● システム運用支援、派生開発 ● 高品質・低価格、効率的なリソース活用	シュリンクする市場で生き残る 高生産性、高付加価値(高収益性)の徹底的追求

ビジネスモデル別売上高構成イメージ



Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3-3「V2026」の方向性について　～4つの重点施策～

CUBE SYSTEM

4領域での投資・注力ポイント

DX事業の推進

企画型ビジネスの推進

- 事業会社との対話を中心に、企画型のビジネスの推進
- 企画からPoC（Proof of Concept）、PoB（Proof of Business）開発を積み上げ、システムソリューションによる高い価値の提供

IP化・プラットフォームビジネスの推進

- Cubecoin、AIZEを起点に展開を拡大していく
- 開発投資による、新たなIP化

システムコンサルティングビジネスの拡大

- システムコンサルティングビジネスの拡大
- システムコンサル人材の増加、育成、確保

人材価値の向上

人材価値の向上を目指す「未来人材開発センター」新設

- キャリアフィールドに沿った目指す人材像の明確化
- キャリア別／階層別育成の徹底
- 人材育成サイクルの見直しによる人材価値向上の加速化
- 人材情報の見える化
- 次期経営者育成
- ビジネスパートナーとの連携による人的リソースの拡充

品質向上の取組み

システム開発会議による工程ごとのレビューの徹底

- リスク案件の見える化
- 会社に影響を及ぼすＰＪリスクの共有

モニタリング機能の強化

ガバナンス体制の整備

経営会議（経営執行機関）の刷新による意思決定の迅速化

事業戦略、人事戦略等の経営リスクに対する報告を強化、その対策を議論検討

システム開発会議／人材開発会議の新設

サステナビリティ経営の実践

市場構造改革を見据えたコーポレートガバナンスの整備

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3-4 サステナビリティ経営

CUBE SYSTEM

経営理念

企業は人によって支えられ
人によって繁栄する。

社員はじめ、
人々の幸福を保障する為に
存続しなければならない。

存続と発展の根源は
利益であり、
利益は顧客によって
もたらされる。

経営戦略

**つねに先進性を求め、
技術と想像力を両輪に、
多面的発想で
社会に貢献する企業**

社会変化

ESGの浸透 / デジタル社会 / SDGs

INPUT

- 財務資本
- 人的資本
- 知的資本／製造資本
- 社会・関係資本

LEVERAGE

V2026の推進

事業成長

- デジタルビジネス
- SIビジネス(Lift&Shift)
- エンハンスビジネス

事業ポートフォリオ2026

6 : 3 : 1 モデル

人材価値向上 ＋ 品質向上

＋ 経営基盤強化

キューブシステムらしさ

OUTPUT

- 高付加価値サービスの提供
- システムインテグレーションサービス
- システムアウトソーシングサービス
- プロフェッショナルサービス
- Oracle Cloudサービス

OUTCOME

事業を通じた社会課題の解決

SDGsに対する成果



企業価値の向上

財務資本の向上
＋
非財務資本の向上

社会・顧客・社員にとって豊かな社会を実現

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

3-5 さいごに

CUBE SYSTEM

「これからも信頼されるキューブシステム」へ向けて
業績の拡大に邁進してまいります。



顧客から“ベストパートナー”と
評価される企業へ



社員と会社（個と組織）が共に成長し、
喜び・豊かさを分かち合える
企業風土の醸成



ソリューション・ＳＩビジネス	サービス提供型ビジネス	チャレンジ	人材育成プログラム
グローバル・ビジネス	積極的な開発投資	多種多様なプロフェッショナル	評価・処遇体系

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

巻末資料

1．主なニューストピックス（2019年度）

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

1.主なニューストピックス（2019年度）

2019年4月1日	SDGsなど社会課題解決への取り組みの加速を目的に「**サステナビリティ推進委員会**」を設置
2019年4月19日	クラウド型の業務ソリューション提供するサイボウズ株式会社の オフィシャルパートナープログラムにおいて、オフィシャルパートナーに認定
2019年5月8日	中部地域の事業拡大と更なるソリューションサービスの充実のため、 愛知県名古屋市に「**名古屋オフィス**」を開設
2019年7月25日	株式会社関電システムズと共同運営による ベトナム国家ホーチミン市校工科大学に在籍する学生を対象した奨学金制度を開始
2019年8月5日	**日本オラクル株式会社**が、特に顕著な業績を残したパートナーを表彰する 「Oracle Excellence Awards 2019」において「**Oracle Excellence Award Specialized Partner of the Year:Consulting - Japan**」を受賞
2019年11月20日	**顔認証・入場管理サービス「Future Pass（商標登録出願中）」**の実証実験を トリプルアイズ社と共に実施
2019年12月17日	AWS Partner Network セレクトコンサルティングパートナーに認定

Copyright (C) 2020 CUBE SYSTEM INC. All rights reserved

CUBE SYSTEM

株式会社キューブシステム

https://www.cubesystem.co.jp/

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
そのため、様々な外部的要因の影響等により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性を多分に含んでいることをご承知おき下さい。